

# ふみびと

第289号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

## かけがえのない 手紙時間

### 何かを始める

何かを始める、新しい年を迎えるといつも漠然とそんなことを思うのですが、いざ考えるとなかなか難しいもの。

でも意外と何かを始めることより、続けることの方が難しいものです。

昨年プロ野球、日本ハムファイターズの監督に就任した新庄剛志監督。自身を監督ではなく、ピッチャーと呼ぶなど、派手なパフォーマンスや型破りな発言が多く取り上げられますが、実は人

一倍野球に対して真面目で、陰での努力を欠かさない方なのだそうです。プロ野球選手としてデビューして初任給で買ったグローブを引退まで試合で使いつけたというエピソードは、彼の野球への真摯な姿勢を垣間見ることができ

ます。グローブは小まめに手入れをしないとボロボロになってしまうもの。十数年の間、使い続けるということは、思っている以上に大変なこと

で、陰での努力を欠かさない方なのだそうです。プロ野球選手としてデビューして初任給で買ったグローブを引退まで試合で使いつけたというエピソードは、彼の野球への真摯な姿勢を垣間見ることができ



しかも飽きることなく同じものを大事にし続けるということはきつと誰にでも簡単にできることではないように思います。

同じ思いを持ち続けることも、その思いを行動に移し続けることも、新しく何かを始めることよりも時には大事なこともないかもしれません。ひとつのことを「続ける」こと、ひとつのものを大事に使い「続ける」こと。

### 頬がゆるむとき

冬はもつと寒かった。北風の吹く屋外はもちろん、家の中も、暖かいのはストーブの周りだけで、他は外とほとんど変わらない冷気に満ちていた。温暖化のせい

か、衣服や空調の性能が上がったからか、自分自身が慎重になつて、寒さへの対策をするようになったからか。何はともあれ、寒さが

苦手な身としては嬉しいことなのかもしれない。そんな「今は昔」の底冷えだけでなく、ふいに遭遇する頬がゆるむときはある。たとえば、寝つけなくて外の空気を吸おうと窓を大きく開けてしまった真夜中。長い

間開けていなかった物置に溜まっていた冷気の中に足を踏み入れてしまった瞬間。そんな時には身震いをしながら「ああ寒い」と顔をしかめるものの、久しぶりのその寒さに「懐かしい」とほのかに頬がゆるんだりする。そんな不思議な郷愁も、冬の醍醐味と言えるかもしれない。

### 風にゆられて誰かに届け！ 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手名を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務所に返信の筒を封下まで流し込みます。



### 新年のご挨拶

何かを「続ける」ことを「始める」一年。そんな一年にしてみたいと思っ

皆さんにとってはどんな一年になるでしょうか。まずは元気で健康であり続けられる一年であることを願っております。

令和四年、本年もどうぞよろしく願ひ致します。さて、1月半ばが過ぎ、毎年恒例の「今年目標」(今年やってみたいこと)を募集いたします！皆様に素敵な一年と素晴らしいご縁がありますように。詳細は別紙をご覧ください。

### お知らせ

1月末の発送日  
月末分の発送日は31日の予定です。送りたいお手紙がある場合には、発送日の2日前(29日)までに事務局に到着することを確認の上、余裕をもってポストに投函してください。



